



感染症対策・調査センター だより

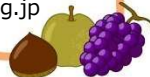


10月

2022(令和4年)10月1日 No.2

① 名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-0003
名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞2266-132
電話 737-3712 FAX 736-1102
Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp



『感染症対策・調査センターだより』はインターネットでもご覧いただけます。名古屋市公式ウェブサイト<http://www.city.nagoya.jp/> から「感染症対策・調査センター」で検索してください。

新型コロナウイルスの消毒薬について

消毒とは、菌やウイルスを害の無い程度まで減らしたり、感染力を失わせたりして、毒性を無力化させることです。感染症対策・調査センターでは新型コロナウイルス感染症患者の移送車両の消毒に「消毒用エタノール」を使用しています。新型コロナウイルスはエンベロープといわれる脂質の膜をもっており、「消毒用エタノール」は、このエンベロープを破壊することにより不活化します。ペーパータオルに浸して清拭したり、スプレー式容器で噴霧し使用しています。「消毒用エタノール」とはエタノールの濃度が76.9～81.4vol%のものです。



消毒用エタノールを
浸した清拭用タオル



足踏み式消毒スタンド



移送車両に搭載したスプレー

その他の消毒薬について

消毒薬にはエタノール以外にも、次亜塩素酸ナトリウムがあります。これは新型コロナウイルスだけでなくエンベロープを持たないノロウイルスの消毒薬としてよく使われます。ノロウイルスは感染性胃腸炎といったいわゆる「おなかのカゼ」の原因ウイルスで、食べ物を介して食中毒を引き起こすこともあります。感染性胃腸炎を発症した患者の嘔吐物等の処理には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。次亜塩素酸ナトリウムは、濃度調製が必要で、手指消毒には使用できず、金属を腐食させる欠点があります。各消毒薬の性質を知り、用途にあわせて適切に使い分けましょう。

ご存じですか？ つつが虫病

●つつが虫病ってどのような病気？

つつが虫病は、ダニの一種であるツツガムシによって感染する病気です。

つつが虫病の潜伏期間は5～14日で、高熱、頭痛、倦怠感を伴って発症します。皮膚にはツツガムシの刺し口が見られ、その後、赤い発疹が現れます。適切な治療を早期に受ければ数日以内に解熱しますが、治療が遅れると死亡することもあるので注意が必要です。

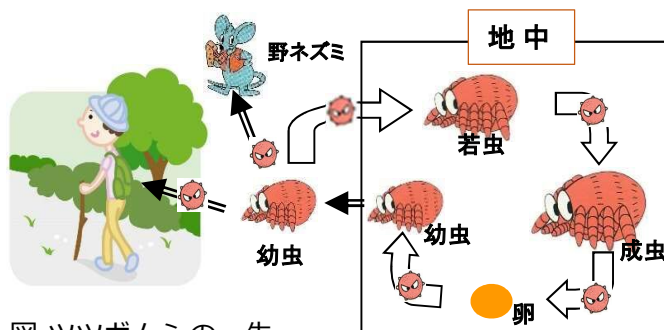
●ツツガムシはどこにいていつ刺すの？

ツツガムシは野山や草むら等の地中で生活していますが、幼虫期に地表に出て一度だけ野ネズミなどに刺し体液を吸います。つつが虫病を主に媒介するツツガムシの幼虫の多くは秋から初冬にかけて発生し、ヒトが病原体を持ったごく一部の幼虫（全体の0.1～3%）に刺されると、つつが虫病に感染します。

一般的にツツガムシに刺されても痛みやかゆみがほとんどなく、幼虫の大きさも0.2mm程度で身体に吸着されてもなかなか気づくことができません。

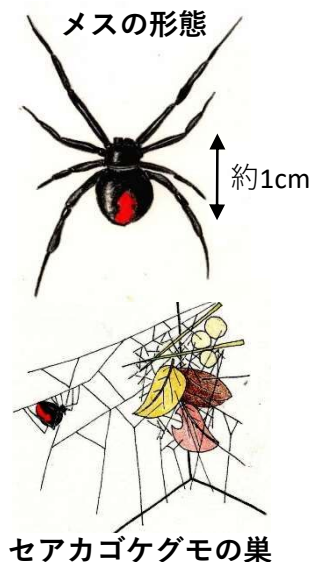
●つつが虫病に感染しないためには？

つつが虫病のワクチンはありませんので、ツツガムシに刺されないようにすることが大切です。野山や草むら等に入るときは長袖長ズボンを着用し、足を完全に覆う靴等肌の露出を少なくしましょう。また、帰宅したら早めに入浴し、着用した衣服を洗濯しましょう。



セアカゴケグモに咬まれないよう気をつけて

セアカゴケグモは夏にかけて行動が活発になり、秋の終わり頃まで活動します。人工構造物の隙間や内部（下図参照）に巣を作り、気づかずに触ってしまった際に咬まれることがあります。セアカゴケグモやその巣を見つけたら、市販の殺虫剤を噴霧したり靴で踏みつぶすなどして対処しましょう。もし咬まれたら患部を水で洗った後に、冷やして、なるべく早く医療機関で治療を受けてください。なお、特定外来生物に指定されているため、許可なく生きたまま持ち運んだり飼育したりすることは禁止されています。



セアカゴケグモの生息場所

